

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 11 月 29 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/29 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	23.5	105.7 kPa abs	A系： 0.13 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.11 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	32.4	8.11 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.08 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	31.5	0.24 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・11/12～12/3(予定) 1号機原子炉圧力容器への窒素封入が停止した際に、予備として原子炉格納容器へ窒素封入を維持するため、O₂サンプリングラインを用いて、段階的に流量を変更する試験を実施中。

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

・H25/11/29 7:59 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ[11/29 7:50 時点]:気温 5.7℃、湿度 73.1%)
※プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

・H25/11/29 15:30 頃 湯気をカメラにて確認できないことを確認。(気象データ[11/29 15:30 時点]:気温 11.7℃、湿度 54.8%) ※プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	17.0
2号機	循環冷却システム	運転中	15.2
3号機	循環冷却システム	運転中	13.2
4号機	循環冷却システム	停止中	23.0 *

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

*4号機使用済燃料プール代替冷却システム停止中のため、当該温度に関しては至近のデータを記載。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。

・H25/11/28 13:42 4号機使用済燃料プール代替冷却系の一次系ストレーナ交換作業を行うため停止。なお作業は 11/30 までを予定しており冷却停止時の使用済燃料プール水温度は 23.0℃。冷却停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.306℃/hで停止中のプール水温上昇は約 16℃と評価されることから、運転上の制限値 65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はなし。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	11/22 9:44～11/29 9:30 移送実施
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	11/6 9:27～ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/29 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	A系・B系・C系 ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。なお、B系については、本年12月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/11/29 12:40 多核種除去設備(ALPS) A系について、腐食対策有効性確認のために運転を停止。

<5. その他>

・H25/10/21 13:50～H25/11/29 13:23 6号機において、燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を実施。

【H4エアータンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

・11/26 11:03～ H4エアータンクからの水の漏えいに伴う汚染の拡散防止策としてH4-No.5 タンクの北東側に設置したウエルポイント(5本)から地下水の汲上げを実施中。

<タンクエアパトロール実績(11/28)>

- ・高線量当量率箇所($\beta + \gamma$ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・サーモグラフィーによる水位確認(11/27 撮影分の分析結果)により、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エアータンク周辺のサンプリング実績>

・11/27 に初めて採取したウエルポイント(バキュームによる強制的な揚水設備)からのくみ上げ水の全ベータおよびトリチウムの分析結果は以下のとおり。

[ウエルポイントの分析結果(新規):11/27 採取分]

・全ベータ 12,000Bq/L

・トリチウム 110,000Bq/L

また、11/27 に採取した観測孔E-1における全ベータおよびトリチウムは11/26 に採取した分析結果と比較して低い値となっている。

[観測孔E-1の分析結果:(11/27 採取分)]

・全ベータ 14,000Bq/L

・トリチウム 62,000Bq/L

[観測孔E-1の分析結果:(11/26 採取分)]

・全ベータ 93,000Bq/L

・トリチウム 470,000Bq/L

その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

・1・2号機取水口間のウエルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は11/29 0:00 時点で約6,047m³
*集水ピット(南)およびウエルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取分の測定結果と比較して有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。

地下貯水槽 No.2ドレン孔北東側について、全ベータ放射能濃度の値が11/27は検出限界値未満($2.8 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$)だったが、11/28の測定結果(1回目)は $7.0 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ であった。このため、2回目の測定を行ったところ、 $4.2 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ であり、その後の上昇傾向はなかった。また、地下貯水槽 No.1およびNo.2のドレン孔・検知孔それぞれ南西側の全ベータ放射能濃度の値についても、11/27に検出限界値未満だったものが、11/28の1回目の測定で検出されたことから、同じく2回目の測定を行ったところ上昇傾向はなかった。

地下貯水槽周りの新設観測孔の測定結果は検出限界値未満であり、他の場所からの流入も考えにくいことから、本年4月に発生した地下貯水槽漏えい時の残渣等が混入した可能性が考えられる。

その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

- H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- H25/10/23～ 地下貯水槽 No.6 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/15～ 地下貯水槽 No.5 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/19～ 地下貯水槽 No.1 において浮き上がり対策を実施中。

以上